

2015年8月10日 掲載 物流ニッポン

第一貨物■運転技能競技大会

「安全第一」精神を浸透

省燃費運転を種目追加

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は8月2、3の両日、山形県天童市の中央研修所で運転技能競技大会を開いた。全国6支社の10チーム40人と関係会社8社か

ら8人がオブザーバー参加。今年から学科、運転実技、日常点検に加え、省燃費運転も競技種目に加えた。開会式は3日に開催。武藤社長が「我々にとって重

要なのは、事故を絶対に起こさないこと。わずかな気の緩みが事故につながる、長年築いてきた信用が一瞬のうちに崩壊してしまう。会社全体が一体となり、PDCA(計画-実行-評価-改善)の手法で安全確保に取り組むことが肝要。選手諸君は、現場に帰ってから『安全第一』の精神を職場に浸透させて欲しい」と要望。

更に、「今回から省燃費運転も種目に加えた。エコドライブで走行距離を100%延ばすだけでも、1億円のコストダウンにつながる。日々のちょっとした努力で実現できる」と述べた。山形運輸支局の松沢和幸支局長らの祝辞に続き、出

場選手を代表して、今野政広選手(42、山形A)が力強く選手宣誓を行った。競技はトラック、フォークリフトの両部門で、トラックは大型、4トン、2トンに分かれ、学科と運転実技、日常点検、省燃費運転を実施した。フォークリフトは1チームから一人が出場し、運転実技のみ行った。その結果、団体は山形Aが優勝。準優勝は名古屋、3位には東京Aが入った。個人の部では、大型が杉田庄司選手(44、山形B)、4トンは菊池悟選手(24、

仙台B)、2トンでは千葉陽介選手(21、東京A)がそれぞれ優勝。フォークリフトは中野智選手(35、山形B)が1位に輝いた。

新設の省燃費奨励賞には田熊章人(26、北関東A)、岸純也(28、山形A)、千葉陽介の各選手が獲得した。

また、関係会社では、大型で我妻太一選手(43、東北第一物流)、4トンは渡辺祐希(25、大阪第一物流)、鈴木伸一(48、東京第一物流)の各選手に奨励賞が贈られた。(黒田秀男)



日常点検競技に取り
組む選手ら